

## 平成27年度一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業 実施報告書

1 事業名称	若鮎育成プラン事業	
2 事業内容	<p>○若鮎キャリア育成プログラムの推進</p> <p>①自己実現の意識醸成のための上級学校・企業訪問（1学年生徒全員がバス5台で大学・短大・専門学校・企業を訪問する）</p> <p>②望ましい勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験（2学年就職希望生徒全員が約30か所の事業所で就業体験を行う）</p> <p>○若鮎スペシャリスト養成プログラムの推進</p> <p>③将来のスペシャリスト養成のための難関検定対策ゼミ（希望生徒が外部講師による難関検定試験受験のための対策ゼミを受講する）</p>	
3 事業目標	<p>①上級学校での学習や企業での仕事内容を実際に見学・体験することで、将来の進路決定の際の重要な手掛かりとする。卒業時の進路決定率を100%とする。</p> <p>②就職希望生徒に対して就業体験を行うことで、生徒がより適切な職業選択を行えるようにする。また、社会人とはどうあるべきかを実体験を通して習得する。卒業時の進路決定率を100%とする。</p> <p>③上級資格に積極的に挑戦することにより、将来の進路実現のレベルアップを図る。日商簿記2級10人以上、ITパスポート5人以上の合格を目指す。</p>	
4 事業成果	<p>①1学年生徒全員が希望する5コースに分かれて(1)宇都宮ビジネス電子専門学校・作新学院大学、(2)筑波学院大学・つくばビジネスカレッジ専門学校、(3)晃陽看護栄養専門学校・EIKA美容専門学校、(4)ナビスコ(株)・TBC学院小山校、(5)トモエ乳業(株)・中央福祉医療専門学校をバス5台で見学・研修した。生徒たちは見学先で担当者から説明や案内を受けるだけでなく、様々な模擬体験なども行い進路についての認識を深めた。</p> <p>②自信と誇りをもって本校生徒を社会へ送り出すことを目的として、2学年就職希望生徒91名が、望ましい勤労観・職業観や人間関係形成能力を育成するための就業体験(インターンシップ)を29か所の事業所(企業)で行った。生徒は事前指導での自己紹介文や依頼文、そして事後の報告書・礼状などを作成しながら、甘えのきかない社会の一端に触れる貴重な機会を得た。更に、多くの生徒が事業所における自分の仕事は自分に任された代替のきかない仕事であり、責任をもって遂行しなければならないという重みを実感することができたものと思われる。自分が一生懸命に取り組み、責任を果たそうとする際にどうしてもぶつかる困難を乗り越えなければならない時に、事業所の方々からいただいた適切なアドバイスは何よりもありがたく感じられたようである。また、責任を果たすためにも、職業選択の際には情報収集に時間をかけ熟慮の上に決断をすることが大切であることも学んだものと思われる。</p> <p>③日商簿記2級を取得するための外部講師(東京IT会計法律専門学校)による講座を平成27年5月16日(土)30日(土)6月6日(土)13日(土)10:00~15:00の4日間実施した。2級レベル(5名)3級レベル(41名)が受講し、6月検定は2級合格3名、3級合格30名。11月検定は2級合格2名、3級合格10名。ITパスポート対策講座は、東京IT会計法律専門学校大宮校講師により、平成28年3月23日(水)~25日(金)9:30~15:30の3日間実施を予定している。25名が参加予定である。</p>	
5 事業評価 ①目標達成度	A	<p>A (81%以上の達成状況)</p> <p>B (60%~80%の範囲内の達成状況)</p> <p>C (50%程度の達成状況)</p> <p>D (30%以下の達成状況)</p>

<p>②目標達成度の根拠</p>	<p>①ほぼ全ての生徒が、今回の見学や体験を今までの漠然とした進路に対するイメージから、より具体的な進路選択へと発展させるきっかけにすることができたと考えられる。</p> <p>②報告書を通して、参加者91名全員が就業体験を行い有益な体験ができたことと記述していた。職業選択の際には自分に向いている仕事なのかどうかを十分に見極めることが必要だと実感したと記述した生徒も多数いたことから、望ましい勤労観・職業観を育成するという目標を達成することにも大いに役立ったと考えられる。また、保護者や教員以外の大人と直接触れ合うことによる緊張感から、コミュニケーション能力を鍛えられたと記述した生徒も多数いたことにより、人間関係形成能力育成にも大いに貢献したと考えられる。</p> <p>③ほぼ全ての受講希望生徒が講座をきちんと受講することができた。日商簿記検定2級の目標合格者数10名に対して5名の合格者を出すことができた。2月検定(受験予定者9名)の結果はこれからであるので期待している。ITパスポートについても春季休業中の講座のため結果はこれからであるが、東京IT会計法律専門学校で実施する講座に出席する希望者も増加している。</p>		
<p>6 生徒感想 ・意見 (箇条書きで簡潔に記入)</p>	<p>・福祉・医療は専門的で非日常的なことが多いと思っていたが、人とのつながりやコミュニケーションの大切さを学ぶ場所であることを知った。</p> <p>・将来は就職かなと思っていたが、専門学校でこれをやりたいと思えるものに出会えた。これから1年かけてじっくり就職か進学か考えたいと思った。</p> <p>・初めての体験ばかりでとても新鮮だった。今回の体験からたくさんを知ることができた。他の専門学校の資料やオープンキャンパスから情報を集め、進路を真剣に考えたい。</p> <p>医療関係の仕事に就きたいと考えていたが、今回の見学や体験からさらにその仕事に就きたいと思った。そのために今からできるだけの努力はしていきたいと思った。</p> <p>・職場では、どんな人も自分の仕事に誇りをもってやっているということがわかった。</p> <p>・個人情報大切さを学ぶことができた。</p> <p>・仕事をするということの責任の重さを痛感した。また、達成感を味わうことができた。</p> <p>・一つの仕事を完成させるには、多くの人が関わっているということがわかった。</p> <p>・お客さんに直接注意されて、自分を変えなければならぬと思った。また、お客さんを迎えるおもてなしの心を学んだ。</p> <p>・挨拶や礼儀がいかに大切かということがわかった。</p> <p>・事業所の人から、人生に迷ったら楽な道より辛い道を選べと教えられて心に響いた。</p> <p>・初めて日商簿記検定を受けました。受けてみて、自分の勉強不足をすごく実感しました。2月にもう一度受験したいと考えているので専門学校の先生方にしっかり教えてもらい、自分でも強い意志をもって勉強したいです。日商簿記2級を目標に頑張りたいです。</p> <p>・このセミナーを受けて良かったです。なぜなら、このセミナーを受けていなければ</p>		
<p>7 担当者意見 (箇条書きで簡潔に記入)</p>	<p>・この進路体験ツアーを実施して、生徒は今の学校生活の過ごし方が卒業後の自分の人生につながっていくことを実感して、より真剣に授業に取り組むようになった者もいるなど、良い変化が見られた。</p> <p>・生徒が自分の考える進路を実現するためには強い意志が必要であり、そのために必要な時間は限られていることに気付かされるなど、今後の学校での指導をスムーズに進めることにも役立つ効果的な行事である。</p> <p>・就職を希望している生徒は取り組みの意識が高く、事業所を直接訪問して打合せを行うなどの事前指導がよくできた。</p> <p>・部活動を毎日遅くまで行っている生徒は、アルバイトを経験する機会もないが、今回の就業体験に参加することで、その仕事に対する自分の適性をしっかりと認識することができたりするなど有益であった。</p> <p>・事前打ち合わせが十分に行われ、言葉遣い等のマナー指導も行き届いたためか、事業所からのクレームは1件もなかった。</p> <p>・自分の親、学校の教師以外の大人との仕事を通しての直接の触れ合いで、生徒はコミュニケーション力の幅を広げることができた。</p> <p>・大変わかりやすい説明で、教科指導をする上で、参考になった。</p> <p>・この講座を実施することで、生徒の知識理解を深めることができたので、次回合格に向けて指導を続けていきたい。</p> <p>・今後、積極的に生徒へ日商簿記2級の紹介を行い、受験者を増やしていきたい。</p>		
<p>8 事業費</p>	<p>458</p>	<p>千円</p>	<p>積算内訳は別紙のとおり</p>

9 広報手段	ア 学校のWebページ（必須）
	イ 学校のWebページ以外の広報手段 ・学校便り「若鮎」に、インターンシップや進路体験ツアー実施の記事を掲載し、近隣小・中学校、学習塾、本校生徒の働く企業に送付した。
	※冊子等の印刷物，教育委員会Webページ（フォトニュース・学校自慢等），教育委員会ツイッター，いばキラTVなど，具体的に記入すること。
7 運営組織 ①名称	若鮎育成プラン事業推進委員会
②構成員の 人数	7名